

メキシコの為替・債券市場について

＜為替・債券市場は軟調＞

足元でメキシコペソはやや軟調に推移しています。年初から5月半ばまで、ペソは米ドルに対してほぼ一貫して上昇を続け、5月8日には2011年8月以来となる1米ドル=11ペソ台をつけました。その後は下落に転じ、5月末には1米ドル=12.8ペソ程度となっています。また、対円でも1ペソ=8.4円台まで上昇した局面もあったものの、5月末には7.8円程度となっています。

債券市場も同様に軟調な動きを続けています。3月にメキシコ中銀が利下げを行ったことなどから、メキシコ国債の利回りは低下（価格は上昇）し、5年債利回りは5月半ばに4%を割り込む水準まで低下しました。しかし足元では、5年債利回りは4.6%程度まで上昇（価格は下落）しています。

＜米国の早期の量的緩和縮小を警戒＞

米国では経済指標の改善が続いているほか、5月22日にはFRBのバーナンキ議長が議会証言で「景気の持続的改善が確信できる場合には長期債買い入れプログラムの減額を行う可能性がある」と発言しました。このような動きを受けて、市場では早期の量的緩和縮小を警戒する動きが強まり、為替市場では新興国通貨が売られて米ドルが上昇し、債券市場ではこれまで買われていた米国債や新興国国債の利回りが上昇しました。

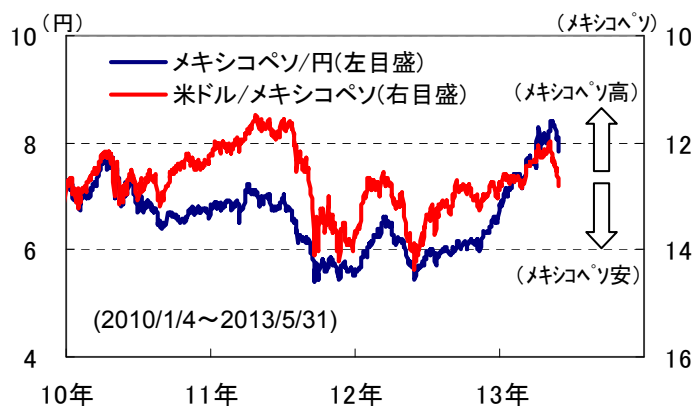
メキシコペソとメキシコ国債の価格は、昨年来大きく上昇していたこともあり、米国の金融市場の影響を受けて調整したものと思われる。

＜ペソは底堅い見通し＞

現在は、米国の早期の量的緩和縮小への警戒感から一時的にメキシコペソの上値が重くなっていると考えられ、当面は同様の局面が続く可能性が考えられます。しかしながら、量的緩和の縮小観測につながる米国経済の好調さは、米国経済と深いつながりを持つメキシコ経済およびペソにとって中長期的にはポジティブであると考えられます。

特に対円では、日銀の「異次元」の金融緩和から相応の期間、円安傾向が続くと考えられ、対円でメキシコペソは堅調に推移すると思われる。

＜メキシコペソ為替の推移＞



＜メキシコ国債利回りの推移＞



出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



商号等
加入協会

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30% 以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会